

平成28年度 全国学力・学習状況調査の結果について

平成28年11月

おおい町教育委員会

平成28年4月19日（火）に、小学6年生と中学3年生を対象にした全国学力・学習状況調査が実施され、本町児童・生徒も参加しました。町全体としての結果の概要と今後の対応等についてお知らせします。

1 調査の概要

(1) 調査の趣旨（文部科学省より）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童・生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

また、学校における児童・生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

(2) 調査科目等と内容

①教科

「国語A、算数A・数学A」……主として「知識」に関する問題

- ・身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容
- ・実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能など

「国語B、算数B・数学B」……主として「活用」に関する問題

- ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する問題
- ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など

②生活習慣や学習環境

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査

2 調査結果

(1) おおい町の児童・生徒の成績

おおい町の児童・生徒の学力がどの程度かを、国や福井県の平均正答率と比較した時、次の表のようになります。

- ☆：国や県の平均正答率より5.0ポイント以上上回っている。
- ◎：国や県の平均正答率より2.5ポイント以上上回っている。
- ：国や県の平均正答率の上下2.5ポイント未満である。
- △：国や県の平均正答率を2.5ポイント以上下回っている。
- ×：国や県の平均正答率を5.0ポイント以上下回っている。

対象学年	小学6年生			
教科・分野	国語A	国語B	算数A	算数B
全国平均	72.9	57.8	77.6	47.2
おおい町平均	○	◎	☆	◎
県平均	76.8	62.7	82.4	51.5
おおい町平均	×	○	◎	○

対象学年	中学3年生			
教科・分野	国語A	国語B	数学A	数学B
全国平均	75.6	66.5	62.2	44.1
おおい町平均	☆	◎	☆	☆
県平均	77.9	70.1	69.3	50.8
おおい町平均	◎	○	◎	◎

この表でわかるように、おおい町の6年生は、国語Aで、福井県の児童と比較して課題が見受けられますが、国語B・算数A・算数Bでは同等の力をつけています。中学3年生は、福井県の生徒と同等以上の力をつけています。

(2) 各教科別の分析結果

各教科における学力の状況は、次のとおりです。詳細は、各校の報告をご覧ください。

<小学校国語>

○良かった点

- ・目的や意図に応じて、自分の考えを書くことに成果が見られる。
- ・目的に応じて、本や文章などを選ぶ力がついている。

●改善を要するところ

- ・ローマ字を書く、ローマ字を読む力が不十分である。
- ・目的や意図に応じて書く事柄を整理することに課題がある。
- ・書き手の表現の仕方をよりよくするための助言に課題がある。

<小学校算数>

○良かった点

- ・計算の領域に成果がある。
- ・与えられた情報をもとにして処理方法を理解して問題解決する力がある。

●改善を要するところ

- ・日常の問題解決に「数量関係」に着目して必要な情報を指摘し、解決することに課題がある。
- ・「図形」の領域で、問題解決に必要な数量を判断したり、指摘したりすることに課題がある。

<中学校国語>

○良かった点

- ・国語A問題、B問題ともに平均以上の生徒の割合が高い。
- ・集めた材料を整理して文章を構成することができる。
- ・互いの発言を検討して自分の考えを広げることができる。
- ・文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
- ・文字の形や大きさ、配列に注意して書くことができる。
- ・目的に応じて文章を要約する力がある。

●改善を要するところ

- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことに課題がある。
- ・文章の展開に即して内容を理解することに課題がある。

<中学校数学>

○良かった点

- ・数学A問題、B問題ともに平均以上の生徒の割合が高い。
- ・比例、反比例、一次関数などの関数の特徴を読み取ったり表現したりすることができている。
- ・証明の必要性和意味を理解している。
- ・目的に応じて資料を収集し、数学的に表現することができている。

●改善を要するところ

- ・条件に合った作図、どのような図形になるかイメージするなど、図形に関する領域に課題がある。

(3) 生活態度・学習状況

<小学校>

○良かった点

- ・学校の宿題をしっかりとっている児童が多い。
- ・学校へ行くのが楽しいと感じている児童が多い。
- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる児童が多い。
- ・将来の夢や希望を持っている児童が多い。
- ・学校の授業の予習・復習をしている児童が多い。
- ・学校が休みの日に2時間以上勉強している児童の割合が増加した。
- ・算数の授業が好きな児童の割合が増加した。

●改善を要するところ

- ・学校図書館や地域の図書館を利用する児童が少ない。
- ・学校の授業時間以外に、普段、勉強する時間が少ない児童がいる。
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする機会が少ない。

<中学校>

○良かった点

- ・友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる生徒が多い。
- ・学級などの話し合い活動で、自分と異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている生徒が比較的多い。
- ・学校の予習をしている生徒が多い。
- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある生徒が多い。

●改善を要するところ

- ・新聞を読む生徒の割合は低い。
- ・週末の家庭学習の時間が少ない。
- ・学校の授業の復習をしている生徒の割合が低い。

教育委員会と学校の取り組み

今回の全国学力・学習状況調査で、おおい町の児童・生徒の良かった点、改善すべき課題が明らかになりました。明らかになった課題を改善するため、県教育委員会や嶺南教育事務所の指導を受けながら、学力の向上と、豊かな心を持った児童・生徒の育成のため、

- ・町教育委員会では、施設や備品の充実、講師や支援員の配置など、教育環境の整備や学校の支援に努める。
- ・学校は、課題を改善するための取組を行うとともに、研修や研究をとおして指導力の向上や授業改善などに取り組み、学力向上に取り組む。
- ・町内の学校が連携し、情報交換しながら指導の充実に努める。

以上のように、児童・生徒の学力の向上に取り組みますので、ご協力をお願いします。

保護者の皆様へのお願い

今回の調査で、おおい町の児童・生徒の良い点や課題が明らかになりました。しかし、国語、算数・数学の限られた教科であることや、紙面の調査があることなどから、把握できたのは学力の一部ですので、この調査結果だけで学力のすべてや学校評価をされないようにお願いします。

児童・生徒がしっかり学習出来るためには、生活が安定していることが大切です。規則正しい生活や時間の使い方など、ご家庭でお子さんと話し合ってください、適切な指導をお願いします。

全体の様子について述べましたが、各校からも状況が報告されますので、お子さんの通っておられる学校の状況や取り組みにご理解くださいますようお願いいたします。

なお、各校では、児童・生徒を行き過ぎた競争に巻き込むこと、この調査結果だけの学校評価やランク付けになることを避け、平均正答率の公表や記号で表すことも行いませんのでご理解ください。